

平成31年1月11日

船引小学校保護者 様

田村市立船引小学校長 有賀 仁一

教育活動・学校運営に関するアンケート結果のお知らせ

新春の候 皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校教育へご理解とご協力をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。

さて、昨年末に皆様にお願ひしましたアンケートの結果を集計しました。貴重なご意見等ありがとうございます。今後の学校運営の参考とさせていただき、本校がなお一層安定した学校へと成長できるよう努めて参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

【本校教育目標】

- ・思いやりのある子ども
- ・よく考えてしっかり学ぶ子ども
- ・進んで体をきたえる子ども

A：よく当てはまる (そう思う)

B：やや当てはまる (どちらかといえば思う)

C：あまり当てはまらない (どちらかといえば思わない)

D：まったく当てはまらない (思わない)

(回収数：687／692)

【学校運営全般・教育活動について】(%) (昨年度と比して良くなっている項目→☆ 努力を要する項目→▲)

	内 容	A	B	C	D	
1	学校は、教育方針をわかりやすく伝えている。	52	45	3	0	☆
2	学校は、保護者が学校行事や授業等子どもの活動が分かる機会を設けている。	69	30	1	0	☆
3	学校は、保護者の考えや思いを聞く機会を設けている。	46	46	7	1	☆
4	学校が、保護者に出す文書の量は適切である。	44	48	7	1	
5	学校は、清潔で掃除が行き届いている。	54	41	5	0	☆
6	学校は、社会のルールやマナーを身につけさせようとしている。	57	40	2	1	☆
7	学校(担任)は、わかりやすい授業に努めている。	69	30	1	0	☆
8	学校は、適度な量の家庭学習に取り組ませている。	51	43	5	1	
9	学校は、子どもの安全意識の向上に努めている。	56	42	2	0	
10	学校は、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努めている。	45	47	7	1	
11	学校は、子どもの健康を考えた食育指導をしている。	57	39	4	0	☆

【考察】

日々の学校運営や教育活動に対して、保護者の皆様に昨年度以上に良好なご理解をいただいていることが伺え、大変うれしく思います。No.7「学校(担任)は、わかりやすい授業に努めている。」は、特に高い評価が得られた項目の1つです。児童アンケートにおける「勉強したことは、よくわかりますか。」の評価と大いに結びついており、家庭での宿題等への取り組みの様子をご覧いただいた結果であると考えます。また、No.2「学校は、保護者が学校行事や授業等子どもの活動が分かる機会を設けている。」については、学校ホームページや学校だより等によって、学校行事はもちろん、日々の授業の様子等を積極的にお知らせしてきたことによって、「A」の回答が増えたものと思います。これら良好な評価に満足せず、これまでの学校の取り組みを振り返り、改善を加えながら、さらに教育活動が充実するように努めて参ります。

昨年度より評価項目として追加したNo.10「学校は、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努めている。」は、昨年同様の評価でした。道徳の授業の充実やいじめノックアウト宣言、定期的なアンケート調査などの学校の取り組みに加え、家庭との連携を強め、「いじめをしない・させない・許さない」態度を育成し、子どもたちが安心して楽しい学校生活を送ることができるようさらに努めて参ります。

【保護者自己評価】

(昨年度より評価が良くなっている項目→☆ 努力を要する項目→▲)

Ⅰ【知】 望ましい学習習慣の確立		A	B	C	D	
1	毎日家庭学習に取り組ませている。	55	36	8	1	☆
2	目安となる学習時間を決めて取り組ませている。	29	49	19	3	☆
3	集中して取り組むためにテレビを消している。	42	32	20	6	☆
4	宿題以外に自主学習にも取り組ませている。	34	38	22	6	
5	読書の習慣をつけさせている。	19	38	33	10	☆
6	学校の学習で使用しないものは持たせないようにしている。	72	24	3	1	

Ⅱ【徳】 基本的な生活習慣と「田村っ子のルール10」の定着		A	B	C	D	
1	「早寝・早起き・朝ご飯」の生活リズムをくずさないようにしている。	49	40	11	0	
2	ハンカチ・ちり紙などを身につけさせている。	47	38	13	2	
3	「おはようございます」「ありがとうございます」「しつれいします」「すみません」などのあいさつがいつも言えるようにしている。	50	44	6	0	
4	家の手伝いをさせている。	40	42	16	2	
5	テレビを見る時間やゲームをする時間を決め、守らせている。	29	43	25	3	☆
6	はきものをそろえる、きちんと片付けをするなど家庭生活におけるルールを決めて守らせている。	27	50	20	3	▲
7	親子でよく話をしている。	54	42	4	0	
8	親（大人）の言うことをきちんとかかせている。	45	48	6	1	
9	不適切な言動についてはきちんと注意している。	70	29	1	0	

Ⅲ【体】 健康の保持増進と体力向上		A	B	C	D	
1	命の大切さを教えている。	74	24	2	0	
2	不審者について行かないように言葉かけをしている。	82	17	1	0	
3	放課後や休日などにおける道路の歩行・自転車の乗り方など交通ルールを遵守させている。	68	29	3	0	☆
4	天気がよいときは外で遊ぶことを奨励している。	44	40	15	1	
5	歯みがきやうがい・手洗いを習慣化している。	54	38	7	1	
6	好き嫌いなくものを食べることができるようになっている。	43	41	15	1	

【考察】

基本的にほぼ全ての項目で、昨年度同等又はそれ以上の評価が得られました。ただ、依然として全体の評価の低い項目も見られますので、家庭と連携した取り組みをさらに強化していく必要があります。

子どもたちの望ましい学習習慣の確立に向けては、家庭のご理解・ご協力をいただいている様子が分かります。Ⅰ－1「毎日の家庭学習の習慣」、Ⅰ－2「目安となる時間」、Ⅰ－3「テレビを消す」の評価が昨年度より上昇しました。家庭において学習習慣・学習環境作りにご協力してくださっていることが子どもたちの宿題等の取り組みにも表れています。昨年度全家庭に配付した「ふくしまの『家庭学習スタンダード』」等を活用しながら、家庭学習を充実させる取り組みを今後も家庭と連携して進めて参りますので、ご協力をよろしくお願いします。

Ⅱ－6「家庭生活のルール」については、ルールを守ることの大切さを子どもと十分に話し合うとともに、できて当たり前ではなく、できていることを認め・称賛することも大切に行かなければならないと考えます。また、Ⅱ－5「テレビを見る時間やゲームをする時間」については、学年が上がるに従って評価が低くなっている項目です。時間の有効な使い方は、学習習慣の形成や学力の定着とも大きく関連するものですので、さらに評価が高まっていくよう家庭と連携しながら学校としても「節度・節制」「自律」といった心の育成に向けて子どもたちへ積極的に働きかけていきます。